

文学館整備にかかる基本的な考え方

基本理念

「文学を中心とした新しい文化の創造・活動拠点の創出」

1. 福井の文学の継承

福井の豊かな風土に育まれた、ゆかりの作家や福井県を舞台とする作品に関する資料などを収集、紹介し、福井の文学を後世へ伝えていく。

2. 文学を通じた福井の魅力の発信

福井ゆかりの文学の魅力を伝え、文学の世界から福井の魅力を発信することで、福井県の魅力を再発見しさらに理解を深めることを促進する。

3. 県民の文化活動、交流機会の拡充

県民が文学に親しみ、学び、交流できる機会を提供し、文学を通じた新たな文化創造の拠点をめざす。

主要機能の基本方針

資料収集・保存、公開、調査研究

- ・福井ゆかりの作家(福井県出身および居住作家)とその作品、福井県を舞台とした作品に関する資料を中心に収集する
- ・文学資料の特性を考慮した収蔵環境を整え、収集資料を良好な環境のもとに保存・継承していく
- ・収集した文学資料の活用が図られるよう、公開を進める
- ・調査研究を行い、福井の文学の魅力や価値を明らかにする

展示

- ・福井ゆかりの作家や作品、文学の歴史などを紹介し、展示全体を通して福井県の文学を総合的に理解できるような内容とする
- ・子どもから大人まで、幅広い年齢層が理解できるわかりやすい展示を行う
- ・さまざまな展示に対応できるよう、フレキシブルな構成とする

教育普及

- ・県民が文学館を身近に感じ、福井の文学への関心を喚起するようなプログラム開発および教育普及活動を行う
- ・子どもたちに福井の文学に興味づけるため、小中学校との連携を進める
- ・文学関連団体等と連携して講師やボランティアの育成を進め、文学を通じた県民の交流促進を図る
- ・県立図書館と県文書館に併設することにより、それぞれの特徴やスペースを十分に活かした連携活動を行う

文学館の特徴

1. 読書を意識した展示

展示と本（作品）を同じスペースに配置し、展示（見る）と読書（読む）で文学に対する関心や、作家、作品への深い理解への相乗効果をねらう。

2. 作家の読書体験の紹介

作家等による福井ゆかりの作品の読書体験を集めて紹介し、作品の持つ力を後世に伝えていく。

3. 映像・音声資料の収集

文豪らが紹介されている昔のインタビューやニュース映像などを幅広く収集し、見て聞いてわかる展示を行う。

4. ティーンズ向け講座、ワークショップの開催

ティーンズを対象にした著名な作家による創作教室、言葉や文学に関する講座、ワークショップを開催し、若い世代への文学の浸透を図る。
文学館・図書館・文書館の各職員の専門知識やノウハウを活かし、児童文学や郷土文学、歴史など文学に関連する幅広い活動を行う。

施設整備

○基本方針

- ・来館者に文学館を強く印象づける意匠とする
- ・バリアフリーやユニバーサルデザイン、環境に配慮し、地震等の災害にも対応した施設とする
- ・来館者の動線を考慮した各ゾーンの配置とする
- ・フレキシブルな展示構成ができるよう、可変性の高い造作を基本とするとともに、一部は貴重資料の展示が可能な設備とする
- ・県産材を活用し、ぬくもりの感じられる施設とする

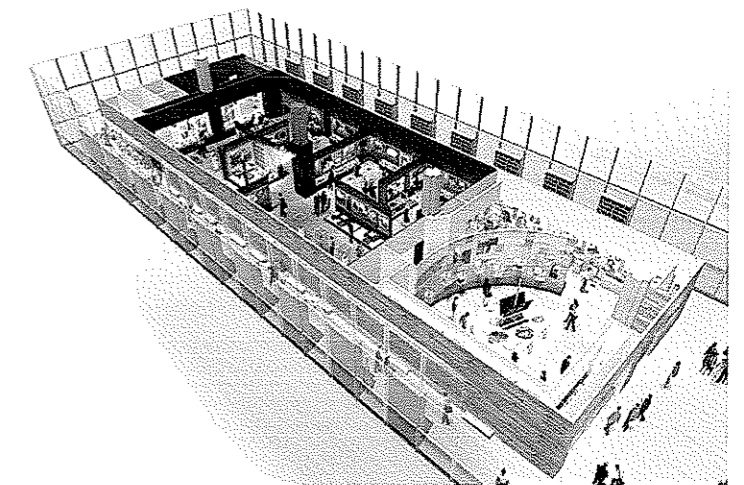
○配置計画

- ・県立図書館の郷土・環日本海コーナー約 1,000 m² を活用
- ・導入ゾーン、代表作家ゾーン、企画展示ゾーン、図書・映像・教育普及ゾーンを配置
- ・県立図書館書庫スペース内に、文学館収蔵庫を確保

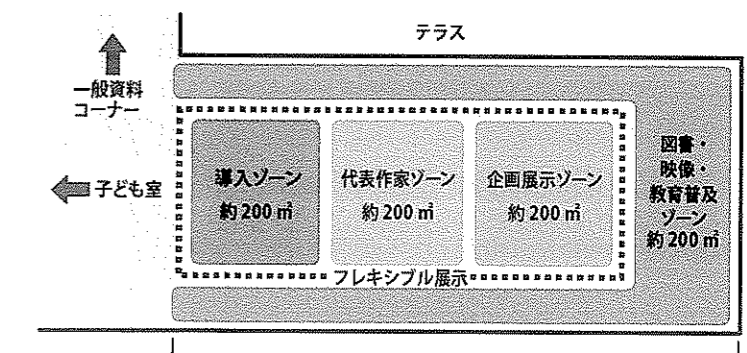
○スケジュール

平成 24 年度	基本計画策定
平成 25 年度	プロポーザル方式により委託業者を選定 基本設計、実施設計
平成 26 年度	建築、展示工事 年度内にオープン 運営協議会の設置

【全体イメージ例】



【文学館内展示配置例】



福井ふるさと文学館（仮称）

施設機能の具体的なイメージ

■資料収集・保存、公開、調査研究

○収集

- ・近代（明治時代）以降を中心とし、福井県との関連性を考慮して、近代以前の資料にも柔軟に対応する
- ・寄贈資料の評価、判定、高額な購入資料の決定等は、資料評価会議を開催し決定する
- ・作家（作家関係者）、文学館、古書店、出版社等から情報収集を行う

〈収集資料〉

- ・著作刊行物（図書、雑誌等）
- ・直筆資料（原稿、書簡、日記、短冊、書画、色紙、取材ノート等）
- ・愛用品（文具等）
- ・作家本人のインタビューや講演、朗読会等の映像・音声資料
- ・写真
- ・直筆資料等の複製
- ・著作に関連した二次資料

○保存、公開、調査研究

- ・資料の特性にあわせた保存環境、システムを整備する
- ・所蔵資料の情報をデータベース化して図書館・文書館と統合した検索システムを整備し、ホームページでの公開や閲覧を行う
- ・所蔵資料や福井ゆかりの文学の調査研究を行い、展示や館報などで成果を発表する

■教育普及

〈活動例〉

- 一般県民向け福井の文学の普及
講演会、文学入門講座、作家による朗読会、移動文学展の開催 等
- 子ども向け福井の文学への興味づけ
学校へのお出前講座、ふくい文学体験キットの作成・貸出、ティーンズ向けワークショップの開催、バックヤードツアー 等
- 文学愛好者向け文芸活動
文学専門講座、学生学芸員企画展 等
- 出版・コンテンツ制作・インターネットによる情報発信
読書記録ノートの作成、絶版作品の復刊、講演会・朗読会等の記録作成およびアーカイブ、取蔵資料や県内外文学イベント情報などのインターネットによる発信 等
- 県の文学の拠点施設としての活動
県内外の文学館との資料貸借・共同企画展・情報収集発信などの連携、県内の文化団体・施設との連携促進、講師やボランティアの育成、文学を通じた県民の交流促進 等

■展示〈展示構成例〉

導入ゾーン



福井ゆかりの作家の紹介イメージ

○福井ゆかりの作家

〈展示対象作家〉

多田裕計、有明夏夫、山崎光夫、藤田宜永、岡倉天心、桑原武夫、山崎朋子、石川九楊、中野鈴子、則武三雄、岡崎純、広部英一、荒川洋治、山川登美子、吉田正俊、岡部文夫、俵万智、皆吉爽雨、伊藤柏翠、森田愛子、山本和夫、加古里子、近松門左衛門、杉田玄白、橘曙覧

・文学のジャンル別グループ展示や8名程度ずつの個別展示で、周期的に紹介する

・初版本、直筆資料（複製）、愛用品等を展示し、人物と作品を紹介する

○福井を描いた文学作品

福井県を舞台にした作品を、山河、歴史、食などテーマ別に周期的に紹介する

○タイムリースポットコーナー

新収蔵資料や作家の文学賞受賞などを適宜紹介する

○福井県文学マップ・文学年表

代表作家ゾーン



代表作家ゾーンイメージ

○文豪コーナー

中野重治、高見順、水上勉の3人を、日本を代表する福井の三大文豪として紹介する

○福井の文芸の礎コーナー

三好達治の福井での足跡や、滞在をきっかけにした福井の文芸の隆盛の流れを紹介する

○津村節子コーナー

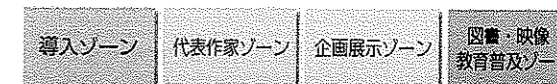
津村文学の世界や夫・吉村昭との絆、女流作家との交流など、津村文学の世界をさまざまな面から紹介する

企画展示ゾーン

・福井ゆかりの作家の企画展をはじめ、さまざまなテーマに応じたフレキシブルな展示が可能な空間とする

・大型の企画展・巡回展などを実施する場合は、代表作家ゾーンと一体的な展開が可能な展示空間とする

①通常



②大規模企画展 A



③大規模企画展 B



図書・映像・教育普及ゾーン

・福井ゆかりの作家の作品や福井県が舞台の作品、県内文学同人誌等、福井の文学に関する図書や雑誌を読むことができるコーナーを設ける

・福井ゆかりの作家を知るためのインタビュー、朗読会等の映像、音声資料を視聴できるコーナーを設ける

・参加体験型展示の要素を取り入れ、子どもが楽しみながら言葉やふるさと文学について学べる場を設ける